

1 単 元 アジア・太平洋に広がる戦争(本時 5/8)

2 本時の目標

- (1) 子どもや女性が戦争の犠牲になったり、厳しい生活を強いられていたりしたことを理解することができる。
- (2) 戦争中の子どもや女性がどのような生活を送っていたかに関心をもち、意欲的に考えることができる。

3 人権教育上の観点

- 自分の考えを的確に相手に伝え、友達の意見に耳を傾けながら、共感する態度を身につけさせたい。(視点②)
- 戦時中の生活の状況を理解し、日々の生活の苦労や厳しさを主体的に捉えさせたい。(視点③)

4 準備・資料

- 教師・・・戦時中の訓練写真、フラッシュカード、ワークシート、画用紙

5 指導過程

段階 時間	学 習 活 動	・留意点 [支]支援 [人]人権教育的配慮 評価
つかむ 3分	1 写真を見て、発表する。 ・小学生が訓練をしている。 ・女の人が働いている。	・ 軍事教練や救護訓練、空き地での野菜作りなどの写真を見せ、思ったことや考えたこと、疑問に思ったことを自由に発表させる。 [支]写真に写っている子どもは、自分たちと同じ年代であることや小学校の運動場で訓練が行われているということを確認させる。
	厳しい生活のなかで、子どもや女性はどのような気持ちで生活していたのだろうか	
知る 17分	2 戦時中の子どもや女性の生活について調べる。 ・ 戦時中の子どもの暮らし ・ 戦時中の女性の暮らし	・ 教科書を読み、戦争のために子どもや女性も訓練を行ったり、働いたりしていたという事実を理解させる。 ・ 戦時中の子どもや女性の生活について、それぞれくわしくワークシートにまとめさせる。 [支]甚目寺小学校でも子どもの軍事教練や救護訓練が行われていたことや今も残る飛行場址から、甚目寺地区でも戦争による影響が大きかったことを知らせる。
考える 20分	3 戦時中の子どもや女性がどのような気持ちで生活していたのか考える。 (1) 自分の考えをワークシートに書く。 (2) 子どもや女性の気持ちについてグループで発表し、話し合う。 4 自分たちのグループで考えたことをまとめ、発表をする。	・ 小学生の軍事教練や食糧不足など、ワークシートにまとめた子どもや女性の生活の様子をもとに、苦しかった当時の気持ちを感じ取らせる。 [支]自分たちの生活との比較から、当時の子どもたちの生活を想像させる。 [人]戦時中の人々の苦しみや子どもたちの思いを、自分自身のこととして置き換えて、考えるように声かけをする。③ 【思・判・表】 ・ 戦争中の人々の苦しい思いや不自由な生活を強いられた子どもたちの気持ちを表現できたか。(ワークシート) [Cの状況への手だて:戦争中の食糧不足を例に挙げ、戦争中の食生活と現在の自分の食生活を比較し、考えさせる。] ・ 自分の考えを書いたワークシートをもとにして、グループで話し合わせる。 [人]自分の考えをもとに、友達の考えにも耳を傾け、互いの考えを共有したり、自分の考えを再考したりする。② ・ グループで行った話し合いをもとに、子どもや女性の気持ちについてまとめさせる。 ・ 2,3名の児童を指名し、簡潔に発表させる。

ふり返る5分	5 授業のふり返しをする。	・ 今日の授業をふり返って、知ったことや考えたことなどを発表させる。
--------	---------------	------------------------------------

6 反 省
7 高 評